

ポジティブにみんなでやれば『楽』になる
～ともに創りあげよう！～

令和4年度大同窓会実行委員会

実行委員長 樋口公一(高45回)

10代の多感な時期を過ごした八女高校。卒業からおおよそ30年を迎えようとしている今日この頃。

私たちは、八女高校大同窓会の『本世話』の年度となります。このたび、その歴史と伝統ある大同窓会の45回生の実行委員長を仰せつかることとなりました。

昨夏、同級生10数名で集まり、大同窓会の企画をしなければならないことを告げられ、高校時代に夢中となり、苦楽をともに創りあげた「体育祭の応援合戦」や「文化祭での音楽祭企画」を思い起こし、母校八女高校を盛り上げるためならばと思いのほか安易に参画していくことを決意しました。

それから毎月、44回生の先輩方と一緒に役員会に参加させていただき、大同窓会の雰囲気や本番に向けてやるべきことなど全容が見えはじめ、これは大変な役目を負ってしまったのではとようやく気づいたところです(苦笑)。

コロナ禍の影響により制約が多く、企画した内容が二転三転してしまうなど、なかなか前に進まない状況が続き、悶々とした日々を過ごすこともあります。

私たちの『本世話』の活動はこれからとなりますが、多くの制約の中においても、私たちができる精一杯のことをやっていくしかないとポジティブに意気込んでいるところです。

一年後の大同窓会を『45回生の絆と創意工夫』で大成功させるべく、今後、鋭意企画していく所存です。

皆さん、たいへんご多忙とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。